

# 石狩湾新港管理組合の統一的な基準による財務書類について

## 1 地方公会計の意義について

石狩湾新港管理組合は、現金収支による予算・決算を議会の承認を受けることで、適正な執行を図るという観点から、確定性、客観性、透明性に優れた単式簿記による現金主義会計である官庁会計を採用しています。

しかし、単式簿記だけでは減価償却費、引当金などのコスト情報、資産・負債といった情報の把握が難しいといった弱点がありました。

また、財務書類の作成方式が各地方公共団体で統一されていなかったため、総務省より「今後の地方公会計の推進に関する研究会」の報告書による、固定資産台帳の整備と複式簿記の導入を前提とした財務書類の作成に関する統一的な基準が示され、全ての地方公共団体において平成29年度までに統一的な基準による地方公会計を整備するよう要請がありました。

そこで、財務の透明性を高め、説明責任をより適切に果たす観点から、単式簿記による現金主義会計では把握できない情報を補完するため、複式簿記による発生主義会計の財務書類を作成することとしました。

石狩湾新港管理組合では、固定資産台帳を整備するとともに、統一的な基準による財務書類である、「貸借対照表」、「行政コスト計算書」、「純資産変動計算書」、「資金収支計算書」の4表を作成しました。

## 2 統一的な基準による財務書類の概要

【貸借対照表】（貸借対照表）→略称：BS（Balance sheet）

- ・基準日時点（各年度3月31日）で保有している「資産」と、その資産がどのような財源（「負債」、「純資産」）で構成されているかを表示したもの。

【行政コスト計算書】（損益計算書）→略称：PL（Profit and Loss statement）

- ・1年間のうち、資産形成につながらない行政サービスに要した費用や、行政サービスの対価として得た収益の取引高を表示したもの。

また、従来の官庁会計では把握できなかった現金収支を伴わない減価償却費等も費用として計上したものの。

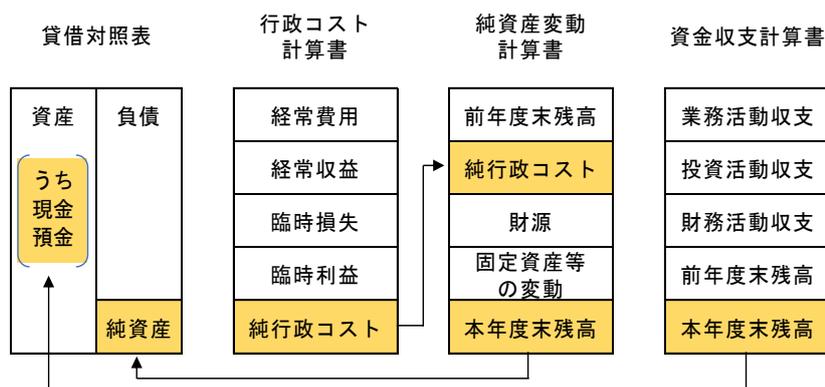
【純資産変動計算書】（株主資本等変動計算書）→略称：NW（Net Worth statement）

- ・1年間のうち、貸借対照表の「純資産」がどのように増減したかを表示したもの。

【資金収支計算書】（キャッシュ・フロー計算書）→略称：CF（Cash Flow statement）

・ 1年間のうち、資金の増減を3つの区分で表示したもの。

### 3 財務書類4表の相互関係



- ① 貸借対照表のうち「現金預金」の金額は、資金収支計算書の本年度末残高と対応します。
- ② 貸借対照表の「純資産」の金額は、資産と負債の差額として計算されますが、これは純資産変動計算書の期末残高と対応します。
- ③ 行政コスト計算書の「純行政コスト」の金額は、純資産変動計算書に記載されます。

### 4 各財務書類の対象とする範囲

一般会計等・・・一般会計

全体会計・・・一般会計及び特別会計（港湾整備事業特別会計）

連結会計・・・全体会計及び第三セクター（石狩湾新港サービス）